

2014年2月

## インドネシアに初の物流センターを開設

～ 自動車部品 3PL 事業に参入 ～

山九株式会社（本社：中央区勝どき、代表取締役社長：中村公一）の、インドネシアにおける現地法人、山九インドネシア国際株式会社（本社：ジャカルタ、社長：帆苅達実）は、2月10日に西ジャワ州ブカシ県にインドネシアで山九グループ初となる自社物流センター「山九チカラン物流センター」を開設いたしました。

同物流センターは敷地面積 63,792 m<sup>2</sup>、一般倉庫面積 9,322 m<sup>2</sup>を有し、一般倉庫の他に 1,985 m<sup>2</sup>の危険品倉庫も兼ね備えております。お客様の物流ニーズに日本式の高品質サービスでお応えすることを目的に、センター内では弊社独自開発のワイヤレスハンディシステムを標準導入、作業員はタブレット端末を使用しながら、高精度な在庫管理・作業進捗管理を実施致します。

立地はジャカルタ中心部から東方 37km に位置し、近年日系企業の進出が続くグリーンランド工業団地内に位置しております。また、インドネシアの主要港であるタンジュンプリオク港にも近く、最適な立地アクセスを誇ります。

山九インドネシア国際は 1974 年に設立され、エネルギー関連やプラント建設など、プラント・エンジニアリング事業を中心に事業展開してまいりました。ここ数年、インドネシアにおける自動車部品を中心とした物流ニーズが高まりつつあることから、同国内における 3PL（サードパーティー・ロジスティクス）事業に参入することとなりました。

今後も山九グループはお客様に貢献の出来るアジアでのネットワークを強化・拡充してまいります。

### 記

名 称：山九チカラン物流センター  
住 所：西ジャワ州ブカシ県デルタマスシティー  
内グリーンランド工業団地  
開 設 日：2014年2月10日  
倉庫仕様：敷地面積 63,792 m<sup>2</sup>、合計倉庫面積 11,307 m<sup>2</sup>  
（一般倉庫 9,322 m<sup>2</sup>、危険品専用倉庫 1,985 m<sup>2</sup>）  
※ 今後、2階建構造の第二期倉庫（倉庫面積約  
3万m<sup>2</sup>）を計画。総倉庫面積4万m<sup>2</sup>を予定。



チカラン物流センター

◆ 問合せ先：山九(株) 総務・CSR部 広報 G 03-3536-3902  
3PL推進部 03-4334-3808